

2008年12月10日

mail ニュース

20・通巻208号

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史

TEL 03-5381-0250

東京自治労連が憲法守る 「九の日」いっせい宣伝

田母神論文等、憲法を巡る情勢が大きく報道される中、自治労連は12月9日に全国でいっせい宣伝行動を展開することを提起しました。この提起に応じて東京自治労連も本部及び各単組でそれぞれが企画する宣伝行動を行うことを決定しました。

自治労連都庁職はこの提起に応じて、9日の早朝8時より約1時間、都庁前で宣伝カーも出して宣伝行動を行いました。当日は第1庁舎北側では、都庁職の指令に基づく衛生医療3支部の東京都予算・人員要求闘争における宣伝行動とぶつかってしまいましたが、それぞれの要求実現に向けて、整然と宣伝を行いました。

今回の宣伝行動の特徴は、都庁内で憲法を守る取り組みに参加している「自治労連東水労」「都庁ブロック」や「都庁九条の会」が一同に介したことです。

中央宣伝カーでは、最初に東京自治労連の荻原委員長、続いて「都庁九条の会」から住宅支部支部長の森成さん、自治労連東水労の増田さん、自治労連都庁職の米山書記長、東京自治労連副委員長の矢吹さんが次々とマイクを握り、訴えました。また、衛生医療の取り組みに参加していた養育院支部の宇野支部長も老人医療センター・老人総合研究所の廃止問題で訴えを行いました。取り組みには約30人が参加しました。

また、憲法を守る共同センターも、同日の12時より池袋駅東口で宣伝行動を行いました。ここでは日本共産党の池田真理子さん、母親大会連絡会の有園さん、元東京都知事候補者の三上さんたちが通行中の方々に訴えました。東京自治労連からは、森田副委員長が訴えました。

又、夕方の6時から7時にかけては、東京自治労連執行部が小雨降る大塚駅前で宣伝行動を行いました。参加者からは、「雨の中でも反応がよく、ピラを受け取ってくれた」との感想が出されました。

そのほかにも、江東区職労は東陽町駅前、多摩市職は京王永山駅頭、足立区職労は区役所前など、東京の各地で東京自治労連の憲法を守るいっせい宣伝行動が行われました。